

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (1) カリキュラム・マネジメントの充実・強化

- ・ 中学校区のめざす子ども像「15歳の姿」を設定し、小・中学校の教職員で連携し中学校区のグランドデザインを作成した。
- ・ 地域連携協議会において、ICTを活用した取組の評価・分析を行うとともに、改善策を検討するなど、カリキュラム・マネジメントの充実を図った。
- ・ 3校で共通して設定した重点の取組状況や成果を把握するための各種調査を、ICTを活用して効率的に実施し、検証改善サイクルの実質化や迅速化を図った。

成果

- 中学校区的全教職員による、学校改善を推進する検証改善サイクルが確立されたことにより、教職員の学校経営に対する参画意識が高まった。
- 業務を進める際にICTを活用することで、業務の効率化を図るとともに、内容を充実させることができた。また感染症対策を踏まえた多様な会議の在り方を検討することができた。



【地域連携協議会における検証の様子】

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (4) 教員の資質・能力の向上

- ・各学校において、ICTを効果的に活用した各種調査等の分析を行い、教員のICT活用能力の向上を図った。
- ・各学校において、校内研究の主題にICTの効果的な活用を位置付け、研修の体制を確立した。
- ・小中一貫教育の推進に向けた小中合同による研修会を計画的に行い、各学校における教科指導や生徒指導、教育課程等に関する研修を推進した。
- ・ICTを活用した実践について、3校の教員が協働して検討するとともに、共通のシートを活用して実践を共有した。

成果

画像をクリックしてください。動画を視聴できます。📺

- 各学校においてICTの効果的な活用を校内研修に位置付けたり、小中連携して実践を交流したりしたことにより、各学校における教科の先進的な取組が他の学校に広がるとともに、授業改善につながった。



【技術科で作成した教科専用のウェブサイト】

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組 (3) 業務の効率化に向けた取組の充実

- ・事務職員を中核としたコアチームが、業務改善に向けた取組の目標として、「ICTを活用した校務の効率化」を掲げ、取組を推進した。
- ・各種会議・研修等で端末を活用し、配付資料のデータ化やデジタル付箋を活用した意見交流などを行った。
- ・学校間の連絡や情報共有を、Googleのスプレッドシートの共同編集機能を活用して行ったり、小中合同会議において、端末を活用しながらオンラインで全体集会を行ったりするなど、感染症対策を講じるとともに、業務の効率化を図った。

成果

- コアチームによる業務改善を推進することにより、組織的な学校運営につなげることができた。
- スプレッドシートを活用することにより、調査等の集約や全体への周知を効果的かつ効率的に行うことができた。その結果、授業の準備や児童生徒と関わる時間の確保につながった。



【小中一貫教育合同会議の様子】